

昨日の夢は 今日の希望 明日の現実

客員相談役 藤井 基之



七月三十一日、日本人宇宙飛行士

若田光一さんが日本人では初めて四ヶ月半にも及ぶ国際宇宙ステーションでの長期滞在を終えて、無事、地球に帰ってこられました。滞在期間中には無重力の中で綱引きや腕相撲をしたり、ねじを締めたりするとうなるかなど、いろいろな面白実験をして見せてくれました。その中で、無重力状態で「作用反作用の法則」は働くかどうかを、剣玉を使って実験してくれました。「作用反作用の法則」とは簡単に言えば、物体Aと物体Bが衝突したとき、お互いにぶつかりあったときの力、Aの力はBに、Bの力はAに相互に作用してそれぞれ反対側にはね返される、という現象をニュートンが法則として定義

したものです。

若田さんは、まず同じ大きさの二つの剣玉の玉を取り出し、一方の玉を宙に浮いて止まっているもう一つの玉にぶつけました。すると、ぶつけた玉は止まり、ぶつけられた方の玉は反対側に跳ね飛ばされました。次に若田さんは水の入った大きな袋を二つ、合計七〇kgほどのものを手にとって、それを前に押し出すようにして投げました。すると水袋と同じ体重七〇kgの若田さんの身体は後方に、水袋は前方に飛び出しました。「このように無重力の中でも作用反作用の法則は働きます」と若田さんはにこやかに説明していました。

さて、一九二六年三月十六日、アメ

リカのマサチューセッツ州オーバーン

というところで、世界で初めて液体燃料を用いたロケットの打ち上げ実験が行われました。実験したのはロバート・ハッチンゲ・ゴダード博士。後に、ロケット工学の父、と呼ばれるようになった人物です。ゴダードが飛ばしたロケットは人の腕ほどの大きさでしたが、二・五秒間で一二mほどの高さまで上昇しました。後に液体燃料推進ロケットの可能性を実証した重要な実験であったと評価されました。

ゴダードは一人でロケット研究を進め、「高高度に達する方法」という論文を発表し、液体燃料による推進力で月にまでロケットを飛ばすことができると主張しました。しかし、他の科学

者やマスコミからは酷評(こくひょう)

されました。大新聞ニューヨークタイムスは、「宇宙には空気も重力もないのだから作用反作用の法則は働かず、液体燃料でロケットを推進することはできない。ゴダードは高校生でも知っている常識も持っていない」と批判しました。

しかし、ゴダードは屈することなく大西洋横断初飛行で有名なリンドバークなどの理解者を得て研究を続け、また、第二次世界大戦中はアメリカ海軍

で働きながらロケット工学の研究を続

けました。太平洋戦争終結の五日前、一九四五年八月十日に喉頭がんで生涯を終えましたが、彼の研究の成果を踏まえてドイツの科学者ヴェルナー・フォン・ブラウン博士によってV2ロケットが生み出されました。

そして、一九六九年にはアポロ11号が月面着陸。その前日、ニューヨークタイムスは、「大気中と同様に宇宙でも作用反作用の法則は成立し、真空中でもロケットは機能する。タイムス

四十九年前の過ちを後悔する」という

社説を掲げたということです。生前、ゴダードが残した言葉。「不可能なものとはなんなのか、言うのは難しい。昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実であるからだ。」

「昨日の夢は 今日の希望 明日の現実」私の大好きな言葉です。調理師の皆様も、きつと大きな夢をお持ちでしょう。それはやがて希望となり、現実となることでしょう。

藤井 基之

- 生年月日 昭和 22年 3月 16日
- 選挙区 参議院比例区
- 当選回数 1回
- 出生地 岡山県岡山市
- 趣味 音楽・読書
- 個人ホームページ <http://www.mfujii.gr.jp/>
- その他 薬学博士・薬剤師
- 私の政治信条
私の政策の柱は A(エイジフリー)B(バリアフリー)D(ドラッグフリー:薬物乱用のない社会)社会創りです。
高齢者も、障害を持つ方も、国民誰もが安心して暮らし、元気で生活を送ることのできる長寿社会を創るために何が必要か、を政治活動の根底においています。
好きな言葉「昨日の夢は、今日の希望、そして明日の現実」
- 活動報告
参院議員厚生労働委員会理事として、食品安全確保のための食品衛生法改正、健康増進法改正、薬事法改正、薬剤師法改正、クリーニング業法改正、国民年金法改正等に関与。
- 経歴
昭和 37年 岡山大学教育学部附属中学校卒業
昭和 40年 岡山県立岡山操山高等学校卒業
昭和 44年 東京大学薬学部薬学科卒業
昭和 44年 厚生省入省
平成 9年 厚生省退官
平成 9年 財団法人ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
平成 12年 日本薬剤師連盟 副会長
社団法人 日本薬剤師会 常務理事
平成 13年 参議院議員
平成 16年 厚生労働大臣政務官
(平成16年9月~平成17年11月)
平成 19年 日本薬剤師連盟 顧問
- その他
慶應義塾大学薬学部 客員教授
昭和大学薬学部 客員教授
東邦大学薬学部 客員教授
新潟薬科大学 客員教授
京都薬科大学 客員教授
近畿大学薬学部 客員教授
千葉大学薬学部 非常勤講師